

第5回三河湾環境セミナー「トンボロ干潟」吟行会成績

日時 令和五年十月十二日(木)

場所 民宿 鈴喜館

吟行地 三河湾とんぼろ干潟

染谷秀雄選

特選 風葬の山の島越え鳥渡る

松浦千賀子

入選 引き潮の道現るる浜の秋

鈴木まり子

トンボロを渡る潮風秋深む

牧野 一古

トンボロの砂州を飛びゆく秋の蝶

伊藤 京子

秋晴や海より青し屑石萇

杉浦 紀子

加古宗也選

特選 鯿飛んで幡豆の漁師の三河弁

黒野美由紀

入選 大いなる干潟や秋の忘れ潮

染谷 秀雄

秋高し干潟に何か動くもの

奥村 頼子

トンボロをしかと踏みしめ秋惜しむ

江川 貞代

秋の蝶影を干潟に落としけり

大橋 紫

太田土男選

特選 トンボロに晒す生死や秋深し

神田 朝子

入選 トンボロに印す一步や秋麗

河原地英武

秋晴や海より青し屑石萇

杉浦 紀子

トンボロに浅黄斑と擦れ違ふ

長坂 尚子

トンボロをしかと踏みしめ秋惜しむ

江川 貞代

坂本宮尾選

特選 トンボロの足裏にゆるぶ秋気かな

大西 朋

入選 トンボロの砂を鳴かせて秋惜しむ

乙部 妙子

澄む秋の風切羽のひかりかな

金子 恵美

馬蛤の出て小蟹も走る秋の砂州

酒井 英子

トンボロに浅黄斑と擦れ違ふ

長坂 尚子

稲田眸子選

特選 トンボロの砂を鳴かせて秋惜しむ

乙部 妙子

秋高し徒で上陸うさぎ島  
引波の描く砂紋や鳥渡る  
砂州に棲む生物たちよ秋日和  
雁渡し漁船にペンキ塗る男

小島きく子  
伊藤 恵美  
山田 和男  
岡本たんぽぽ

中村雅樹選

特選 手を借りて渡るトンボロ秋高し  
入選 秋の浜蟹のむくろの裏返り  
秋暑し砂州を行く人戻る人  
足元にもう潮満ち来雁渡し  
昼の虫船底赤く塗つてをり

米津季恵野  
加藤 耕子  
鈴木こう子  
田口 風子  
平田 倫子

加藤耕子選

特選 茶の街の雀干潟の蛤に  
入選 トンボロの砂を鳴かせて秋惜しむ  
秋風や砂州のいのちを洗ふ潮  
志摩の間をのぼる差し潮秋干潟  
風寂しトンボロ干潟にあきつ飛ぶ

重留 香苗  
乙部 妙子  
祢宜田潤一  
平戸 俊文  
竹内 輝

田口風子選

特選 さわやかや砂州まつすぐに前島へ  
入選 秋高しかぼちや寺まで浜の風  
鳥渡る妣は浜の子漁師の子  
秋晴や砂州の波跡踏みて歩す  
椿の実観音に海真正面

杉浦 紀子  
井浪 京子  
三浦 彰  
長坂 尚子  
大橋 紫

河原地英武選

特選 秋澄むや母子のやうな島二つ  
入選 秋の浜蟹のむくろの裏返り  
鰯飛んで幡豆の漁師の三河弁  
舟底にペンキ塗る漁夫新松子  
トンボロをしかと踏みしめ秋惜しむ

水野 幸子  
加藤 耕子  
黒野美由紀  
神田 朝子  
江川 貞代

壁谷禮伺選

特選 トンボロ浜足音小蟹驚かす

尾崎 嬬子

トンボロへ島へ海へと秋の蝶

堀場 幸子

トンボロに蟹戯れて秋日射

水野 臣海

神島の影や波間に鰯の飛ぶ

浅見 忍

トンボロへ寄する潮騒つぶやけり

国枝 隆生

祢宜田潤一選

特選 秋高し徒で上陸うさぎ島

小島きく子

入選 風音の波音となる秋の砂州

岡田つばな

逝く秋のトンボロに描く小宇宙

天野れい子

鯨群るる砂州の浅瀬や三河湾

山田 和男

トンボロへ島へ海へと秋の蝶

堀場 幸子